
魔法少女リリカルなのはSniper

教習用ザク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのはSniper

【Nコード】

N5599L

【作者名】

教習用ザク

【あらすじ】

紛争の耐えぬ地域で生まれた彼は、狙撃手として、兵士として人を殺し、殺される関係の中で生きていた。

そんな、彼のたった一つの夢は正義の味方……

それを見ていた神様は、そんな彼に正義の味方になるチャンスを与える。

戦いの中で生きてきた彼は、果たして正義の味方になれるのか……？

プロローグ 狙撃手はこうして此処に居る（前書き）

片方の作品が完結しないままこの作品に手を出しました、すみませ
ん。

更新頻度はもう片方の小説の方を優先するつもりですが……

感想や誤字指摘などありましたら是非お願いします。

ブローグ 狙撃手はこうして此処に居る

ジョイナス大佐凶弾に散る、犯人の意図は？ 2 / 2 1 ミッド新聞

本日未明、ミッドチルダペイズリーホテルの一室にてジョイナス・ツアルトル三等陸佐の遺体が発見された。

死因は側頭部から銃弾による一撃、即死だったと推定される。

被害者は管理局内外でも有名な魔道師であり指揮官。 彼が救った現場は数知れず。

それと同時に質量兵器保持法違反疑惑、ロストログア不正横領疑惑など様々な疑惑がかかっていた。

犯人の動機は不明、局では未だ捜索が続けられている。

またも凶弾、犯人の意図は果たして？ 2 / 2 3 ミッド新聞

ジョイナス三等陸佐狙撃事件の二日後、昨日。 二等陸佐の秘書、ケリーラ・レイ氏の遺体が発見される。

場所はミッドチルダ南部、セントチ・ヒロの北に存在するノカミ・カクシ。

死因は後頭部からの銃弾による一撃、またも即死である。

この件について管理局は「極めて腕の高いプロの犯行だ。 決して見過ごす訳にはいかない。」とコメントしている。

犯人からの手紙、ジョイナス陸佐は“クロ”だった。 2 / 2 4
ミッド新聞

昨日深夜、時空管理局に一通の手紙が届いた。

手紙の内容は資料ファイル、ジョイナス三等陸佐の過去の犯行内容、その証拠を纏めた物だった。

管理局は直ちにそれらの真実を確認、全てが真実であった事を認めた。

その資料の中には別の違法魔道師グループの潜伏先も記載されており局は直ちに摘発。

資料の内容全てに嘘偽りは無かった。

管理局はこれらの事件を内部告発者の仕業と見ており、調査を続けている。

「……………なんやろうね、この事件……………」

時空管理局、遺失物捜査課機動六課部隊長室。 机の机上に置かれた記事をはやては見る。
書かれている記事は一人の犯人（想像だが）が起こした事件について書かれている。

「最近の週刊誌もこればかり書かれてるからね……他にもいくつ
か狙撃をしているみたいだけれど。」

「執務官のフェイトちゃんから見てこの事件はどう思う？」

「うーん……犯人は多分、自分のやっている事を“正義”だと思っ
てるんじゃないかな？」

「たとえばこの事件……なのはもはやても知ってるよね？」

彼女が手に取った記事をはやてに見せる。

「犯罪者達がビルを不法占拠、人質を複数人取り管理局も動けず、
彼等の要求を聞くしかなかった時に狙撃。」

「犯人達を感覚をおかずに連続で狙撃して救出……やな。」

それはつい最近起きた事件の一つだ。

数名の犯罪者達がビルの中を不法占拠し、デバイスを持ち、人質を
とって局に行った要求は一つ。

『人質一人に付き百万ミッド（日本円にして一千万円）を払え！
人質は十六人だ、何人救いたいかはお前達が決める！』

彼等の犯行声明から数十分後、一人の犯人が頭から血を流し倒れた。
それをキツカケに次々と倒れる犯罪者……結局彼等は人質を一人も
殺すことが出来ず、自分達が殺されたのだ。

「とすると厄介やな……自分が正義やと思っとなるなら説得は通じん

やろつし。

やっぱり見つけたらなんとしても逮捕せんとアカンな……」

「……でも、彼も多分民間人を守りたい、っていう思いは一緒だと思っ。

ほら、前はぐれガジェットが市街地に現れたときの事件。」

なのはの言うはぐれガジェット、とはかつてJS事件の時生き延びたガジェットドローンの事だ。

ガジェット達は最初こそ何も動きを見せていなかったが、ジェイル・スカリエツティが逮捕されてから数日後、立て続けに事件を起こしているのだ。

恐らく、スカリエツティからの指示が一定期間以上立たれると暴走する仕組みになっていたのか……

「市街地に現れたガジェットに対しても狙撃……おかげで民間人の犠牲者は0。

ガジェットの装甲を抜く、ってどんな弾丸使ってるんや……」

この事件が起きてからの彼女達への命令は簡単だ。

はぐれガジェットの殲滅、付近の犯罪への対処。

レリック事件……ジェイル・スカリエツティ事件も終り、後は消滅を待つ身の部隊に所属する彼女達への命令だ。

そして彼女達が追う事件、それは……

犯罪者連続狙撃事件

s i d e ? ? ?

僕は生まれつき戦場にいた。

自分がどうしてそこにいたかも分からない……でも、戦場に立つのは仕方の無いことだった。

僕の生まれた土地では紛争があった……まだ子供だった僕に、何故その紛争が始まったかはわからないし、知る必要も無かった。何故なら、気が付いたときには銃を握っていたから。

幼い頃から狙撃兵になるための訓練を受けていた僕にも夢があった。

その夢は、誰かの為に銃を握る事。

僕の銃で、人の命を奪うのではなく誰かを助けたい……

神様はそんな僕を見ていてくれた。

17歳の誕生日、僕は自分自身を失って新たな自分を手に入れた。
簡単に言えば転生だ。

神様が転生の際に僕にくれた能力は、戦う以外の才能、一度自分が扱った事のある装備品の複製をする能力と魔力。
そして有る程度の紙幣。

……………それでも、この世界に来てからは大変だった。
町の外れに店を立て、生計を立てて暮らしている。 店名は簡単に言えば「なんでも屋」だ。

来客からの依頼を受け、出切るだけ迅速に済ませる。 当然、殺しの依頼は受けていない。
そして依頼が無い時は……………出切るだけ町を周り、人を助けている。

迷子探しや落とし物搜索、道案内にひったくりを殴り倒す。

当然、その際に宣伝は忘れていない。

そんなこんなで一ヶ月……………店には、二日に一人は人が来るようになった。

どうも、ここミッドチルダには「なんでも屋」という物は無かったらしく、それが気になって覗いたりする人も多いらしい。

『良い日だなあ……………天気も良いし、空気も澄んでる。
こんな日はのんびり過ごすに限る……………』

そう言っつて、椅子に座ったまま眠ろうとする僕の耳に、ラジオから
声が響く。

「ミッドチルダ湾岸区付近にてガジェットドローンが出現しました！
付近の人は速やかに退避しています、あ、あれは三型でしょうか…
…大きいです、あまりのブチィッ…

ラジオの声を最後まで聞かず、僕は立ち上がる。

……頭を冷やせ、感情を消せ、脳内をクリアにして……

………仕事だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5599/>

魔法少女リリカルなのはSniper

2010年10月10日18時01分発行